

第4回三沢市協働のまちづくり推進懇話会概要

日 時：平成25年11月27日（水）

18時30分～20時10分

場 所：市民活動ネットワークセンターみさわ第2会議室

出席者：7名

次 第

1. 開会

2. 出席者
- | | |
|-------------|-------------|
| ・名久井 正廣（会長） | ・吉家 裕行 |
| ・金淵 恵 | ・高田 弘明 |
| ・平野 真夕 | ・福澤 定岳 |
| ・宮古 博之 | |
| ・内野 尚美（事務局） | ・吉田 彰博（事務局） |
| ・細田 貴子（事務局） | |

3. 今回の検討事項

①市民活動ネットワークセンターみさわ利用者アンケート結果について

☆事務局説明

- ・11月の1日～25日の期間、利用者アンケートを手渡しした結果、131名から回収できたので結果をまとめた。日曜日の開館希望などは半々の結果になっている。詳しい分析は、もう少し精査したのちにホームページに載せて公表したい。

☆アンケート結果に対する各委員からの意見

「利用目的」について

- ・「会議・打ち合わせ」などが主で、「市民活動に関する情報発信のため」という目的がゼロということは、現在あるメールBOXなどの活用方法を登録団体にもっと知っていただく工夫が必要。

「どのような支援機能を望むか」という問いに対して

- ・「他の団体の活動状況や助成金などの情報」、「町おこしに関する情報等」について望む、という意見が出てくるようになったのはとてもいいことだと思う。
- ・備品について「ロッカーが欲しい」などとあるが、予算があるのか？
⇒ありません。
- ・ネットワークセンターをFAXの受付先として書いていただくというのは出来そうではないか。
- ・「ふれあいの館の方がなじみが良かった」という意見に対しては、どういふことなのかもっと具体的に聞いてみたい。

(管理人がいなかったので自由だったという意味なのか、予約方法なのか。それとも名称のことか。)

- ・「会議室の空き状況がネットでわかるようになればいい」という意見に対しては、確かに工夫が必要だと思う。
- ・「他の団体の状況や助成金などの情報をセンター内に掲示してほしい」という意見があったので、利用者の方が情報を共有したり、お互いを知るためにも、自由な掲示板があったらいいかもしれない。
- ・コピー用紙は、行政が使っている紙を利用しているので、真っ白ではない。そのため、カラー印刷する時に発色が気になる場合は、「ご自分でお持ちください」ということでもいいのではないかな。
- ・料金設定はルールを作らないといけませんが、事務員に言えばその場で白い紙に変えてくれるとか、コピー機の前に、その旨を書いて貼っておくなどするだけでも解決できるのではないかな。

「予約方法への意見」に対して

- ・「空き状況がネットでわかるようにしてほしい」とか、「当日空いているならば現場での許可が出来ればいい」というような意見から、申込む際の手続きをもっと柔軟にやれば、使いやすくなり、「活動が盛んではない」と感じている人達も使ってくれるようになり、結果的に活動が盛んになるのではないかな。
- ・予約方法については、そだなす館になる前、懇話会でも議論された。ネットでの予約ももちろん検討されたが、システムの予算や事務局がない時の対応などの細かい所を詰められなかった経緯がある。
- ・変えることを前提にするのではなく、より使いやすくするにはどうすればいいのか、という視点で検討していかなければならない気がする。

「職員の言葉使いや口調は丁寧か」という問いに対して

- ・職員に対するほめ言葉が沢山書かれてあって嬉しい。窓口なのでトラブルがないというのは一番いいことだと思う。
- ・失礼だけれど、職員の対応がこんなにいいとは全く知らなかった。でも、やはり外からはわからないので、たとえば、入口に「開館」、「閉館」の札を下げているのは、そこを通りながら見ている、それだけでも安心してドアを開けられるようになり、中に入りやすくなっているのではないかなと思う。

「日曜・祝日の開館希望」について

- ・日曜・祝日にもっと開けてほしいという意見が多いかと思ったが、半々だったことに驚いた。
- ・思い通りにはいかないようだが、意見を聞いたことは貴重だと思う。
- ・市民活動をしている人は、日曜・祝日はイベントに従事しているので、

日曜・祝日に会合や打ち合わせでこの場所を使うというニーズがどれくらいあるのか。

「開館の希望時間」について

- ・「9時から17時まで」が一番多く、意外に「9時～21時」が少ないと感じた。
- ・曜日別で、土曜日の夜間についてはどうなのかもっと知りたい。

その他

- ・広報広聴課で様々なセミナーをする際に、ネットワークセンターのPRを積極的にしていったほうがよい。
⇒セミナーを開催するたびに受講者にパンフレットを配るとか、CMを作って流すなどできることをしていきたい。
- ・広報広聴課が主催するセミナーでは、そだなす館は使えないものか。
⇒一部のセミナーで使っているが、駐車場が少ないという点が問題。
- ・駐車場についての設問はアンケートにはないが、そういう意見はあるか？駐車場について困っているとか、そういう声が無いのなら駐車場をそんなに心配しなくてもいいのではないか。
⇒今後のアンケートで駐車場についての設問を入れることも検討する。
- ・アンケートを定期的に行うことはいいことだが、利用する団体が決まっている人ばかりなので、時期を考えて工夫しないと同じような回答になるかもしれない。
- ・今回のアンケート内容を踏まえて、さらに細かい所を聞きたいという内容にすれば、次のステップのためのアンケートを取るという事も一つの方法。
- ・「自分たちで出来る事」の方向性をはっきり示すことで、例えばポットが欲しいという事に対して、「ポットを持ってきてもいいですよ」と言えれば、それなら自分達でできることだから、あれが欲しい、というような意見は出て来なくなると思う。
- ・光熱水費の問題がある。ふれあいの館の時でも、自由に使えるポットを置いていたが、冬に電気代が跳ね上がる月があった。
- ・ポットではなく、飲む分だけを沸かす湯沸かしがあるから、そういうものでもいいのでは。保温に電気代がかかるから。
- ・自分たちでやりたいという意見があったら、それを尊重する事も考えなければならない。
- ・使う人たちがきちんとやってもらわないといけないので協議会のようなものでルールを作ることが必要になってくる。
- ・単純にパンフレットを渡して広報するだけではなく、セミナーのアンケートに付け加える形で、「ネットワークセンターを知っていますか？」という程度のアンケートをお願いしてみてもどうか。知っている

るかいないかだけでも、ここに来たことのない人の意見を聞いて掘り出していくのにはいいのではないか。

- ・ 前回の会議でも、図書館などにこのポスターを貼ってもらい、他の施設を使っている人に広めようという話も出ていた。
- ⇒他の施設にポスターを貼るということについては検討中。来たことがない人用のアンケートも作ったが、セミナーなどの機会を利用して配るのもいいと思った。
- ・ 定点観測みたいに、同じ団体さんが1年後、同じ内容のアンケートを出して、どのような考え方に変わるかを見るのもおもしろいかもしれない。

②協働に関する研修会などの開催について（ファシリテーター養成講座）

☆事務局説明

前回の懇話会を受けて、2月22日（土）10時～16時まで、国際交流教育センターで、あおもりNPOサポートセンターの三澤さんを講師にお招きして、ワークショップをしながら1日かけて行う予定。

☆委員からの意見

- ・ ファシリテーターを養成することが目的か、それともファシリテーターについて考える事が目的かどちらなのか？
- ⇒養成することが目的。話し合いを進めるリーダーがいれば様々展開ができると考えている。
- ・ 養成という視点に立てば、これでは短い。これは入門編で、来年度も、同じ人でやらなければ意味が無いと思う。
- ⇒今後は、1回の時間は短くなるかもしれないが回数を重ねて続けたいと考えている。
- ・ 参加者がその都度変わると、1回ではどうしようもないので、入門編などにして参加者に続くのだという意識付けをして行かないといけない。次年度からは回数を重ねて、認定をもらえるというような形式にすると参加する人も意識が出てくるのではないか。
 - ・ まちづくりだけではなく、会社、職場でも役に立つ、というところをうたい文句にして広く声をかけ、ファシリテーター養成のための最初の事業展開として今回の講座を当てて行けばいいと考えている。
 - ・ 同じメンバーで長丁場を一緒にできるのであればいいが、もしこれが1回で終わりなのであれば、1日で認定証がもらえるといいと思う。よく行われているセミナーのワークショップではファシリテーターとなる人物がいなくて多いので、認定証をもらった人たちをそれらのセミナーに呼んで、実践を積んでもらえばどうか。
 - ・ 養成講座のターゲットは誰なのか。市役所職員が半数だったら面白くない。市民だったら面白いと思うが。また、見るだけでも勉強になる

- ので、公開のようにしてもいいと思う。
- ⇒公開してもいいと考えている。また、職員にも参加してもらおうつもりだが、職員が半数ということはない。
- ・どこに声をかけるのか？
- ⇒職員、町内会、企業（住友とか大きいところ）
- ・誘致企業に声をかけてもいいのでは？
 - ・人材育成セミナーも似たような企画だったと思うが、その成果はどうだったのか？
- ⇒具体的な手法を学んで考えてもらうということが目的だったので、これは1回か2回やっただけではすぐに成果がでるものではない。セミナーの中でも話し合いが進まないことがよくあるので、やはり、ファシリテーターが必要ということになり、今回は入門編として開催して、そこで育った方をまた人材育成セミナーなどに参加してもらって実践して頂くというような展開を考えている。
- ・最近はいろいろなセミナーでもワークショップがよく出てくるようになったので、だんだんみんなもそれに慣れてきたと思うが、それを回す人がいないと、先生がテーブルを離れたとたんにもどうしようもなくなるので、いい企画だと思う。
 - ・事業がつながっていかないと意味が無いので、そういう意味でもいいと思う。

③その他（委員からの意見）

- 11月11日に行われた市長との懇談会（テーマ：協働のまちづくり）に参加して考えたこと
- ・市民活動団体の方々が一堂に集まったことがこれまでになかったので、とても有意義だと感じたが、そのまま終わってしまったのがもったいないと思った。そこで、懇話会のプロジェクトのひとつとして、そだなす館に登録している市民活動団体も含めて、一同が顔を合わせる場を設けて、どんなことをやっているかをお互い紹介し合ってはどうか。
- ⇒以前、NPOが三沢で定着するようにと、NPOの顔合わせ会をしましたよね。そういう例があるので、できないことはないと思う。
- ⇒懇話会が先立ちになると、懇話会の立ち位置が違うものになると思うので、まずは市長との懇談会に参加した方々や、NPOなどに声をかけて情報交換会のようなものを開くのはいいのではないかと思う。しかし、発起人となると、なかなか先に進まないのではないか。ソフトランディングという感じから行くと、広報広聴課から声をかけていただいて、進めて行くといいのかとも思う。
- ⇒市長と語ろう住民懇談会は、市長と語れるから集まったもので、ネットワークを作りたいから集まったわけではないので、意味合いが違うと思う。

- ⇒ネットワークを作ることに対して、市役所が主導をとると、どうしても形骸化してしまう。懇談会の参加者の中には自分たちが主体ではないことに抵抗を感じる、という話もあった。そういうこともあり、ネットワークを作るのも市役所が先頭に立たない方がいいという思いはあるが、交流会や、そういう場を作るといいと思う。
- ⇒情報交換ということで、団体に知らせて、それをまとめやすいのはやはり広報広聴課だと思うが、あくまでもやるのは市民団体の方々。それが続くか続かないかは団体の考え方次第。
- ⇒自発的に集まる様な感じに仕向けていかなければ、市役所が声をかけないと集まらないような状況になってしまう。
- ⇒今回の提案については、まずは市長との懇談会に参加した市民活動団体の皆さんに声をかけて、合意形成を図ることが先なのではないか。

☆次回以降の日程について・・・12月18日（水）を予定。

4. 閉 会